



市民ライターがつくる。さがん街なかMAP

03 おしゃれな店内で味わう絶品皿うどん

中華料理 光楽園

ライター
美味しいスイーツ検索中
原口美希

佐賀市中央本町の一角に佇む、1942年創業の老舗中華料理店「光楽園」。タレントの優木まおみさんご実家としても知られているこのお店は、地元の人々に長年愛され続けています。数あるメニューの中でも特に人気を集めているのが、「皿うどん（税込700円）」です。

「皿うどん」といえば、地域や年代によって「もちもちの太麺」を想像する方もいれば、パリパリ麺にあんをかけたものを思い浮かべる方もいるでしょう。光楽園では、「もちもち麺」を使った皿うどんが主役です。麺を香ばしく焼き上げ、豚肉と野菜を特製スープで絡めながら炒めて作られる一杯は、濃厚でありながらあっさりとした味わいが楽しめます。一方で、パリパリ麺にあんをかけたものは光楽園では「焼きそば」として提供されています。こちらは注文が入ってから丁寧に麺を揚げ、口に入れた瞬間に「パリッ」と音がする、揚げたての食感が楽しめます。

皿うどんの最大の魅力は、店主・張さんのこだわりが詰まったスープです。「体に優しいものを提供したい」といひながら、スープの材料や調味料の配合に細部までこだわりが感じられます。しつこくなく、軽やかで野菜や肉の旨味が引き立つ一杯は、どこか懐かしさを感じさせる素朴な味わいです。皿うどんは、「焼きちゃんぽん」を思わせる風味もあり、ちゃんぽん好きの方にはぜひ一度味わっていただきたい逸品です。お客様の中には光楽園の皿うどんを目当てて県外からわざわざ足を運ぶ方も多いとか。さらに、チャーハンがセットになった「皿うどんセット（税込1,080円）」やライス・小鉢・スープがついた「皿うどん定食（税込850円）」も人気メニューの一つで、ボリューム満点で大満足の内容です。また、皿うどんの他にも「ターローメン（税込700円）」も人気の一つ。毎回新たな味に出会える楽しみがあるので、光楽園の大きな魅力です。



皿うどん 税込700円。光楽園の看板メニューです

光楽園は、中華料理店でありながら、カフェのようなおしゃれな雰囲気も持ち合わせています。女性一人でも気軽に立ち寄れるアットホームな空間で、気さくな店主夫妻が温かく迎えてくれるお店です。今日は「麺が食べたい！」という気分の日には、ぜひ光楽園を訪れてみてください。

[INFORMATION]
中華料理 光楽園 ☎0952-23-3059 ● 佐賀市中央本町3-25 ● 営業時間 / 11:30~20:00 ※ 15:00~17:00 中休みの場合あり ● 定休日 / 不定 ● 駐車場 / あり (店舗前)



エスプラツ西口から南に50mほどの場所

05 シェフがつくる「冷凍パスタ」 お持ち帰りでお店の味を堪能！

デリカテッセンとオーベルジュ cosa

ライター
かわらばん編集長
庄野雄輔

ミシュランのビブグルマンに認定された、イタリアンレストラン「イルソリッソ」が運営するデリカテッセンの「cosa」。素材の味を活かしてつくる本格イタリアンのお惣菜を中心として、シュークリームやプリンといったスイーツ、そしてシェフ厳選のチーズやワイン、オリーブオイル、さらには地元佐賀の日本酒やお酢、お米に至るまで、様々な美味しいものを販売されています。最近は金曜限定のパニーニも注目したいところ！

そして、今回はイルソリッソのランチでも提供されている「パスタ」をご家庭でも食べられるようにした「冷凍パスタ」を紹介します。以前からパスタソースのみが販売していましたが（麺は普通に冷凍するだけでは美味しさを維持できないため）、急速冷凍機の導入をきっかけに麺とソースをセットで提供できるようになったそう。麺に切り込みを入れ、レンチン。一口いただくと、冷凍とは思えないほど美味しい！というのが率直な印象でした。オーナーシェフ富永氏の「お店の味をご自宅でも気軽に味わってもらいたい」という想いが伝わってくる気がしました。

パスタはお店で食べるのもいいですが、ゆっくりくつろげるご自宅でレストランの味を堪能するのもいいですね。ちなみに、11月6日からはcosaの店内でもパスタランチが始まりました。その他の情報も含め、詳しくはお店のインスタグラムをご確認ください。

[INFORMATION]
デリカテッセンとオーベルジュ cosa ☎0952-37-9929 ● 佐賀市中央本町2-22 タワービル1F ● 営業時間 / 11:00~18:00 ● 定休日 / 火曜 ● 駐車場 / なし ● <https://cosa-inn.jp/> ● インスタグラム @cosa_info



アマトリチャーナ 税込918円(350g) 冷凍パスタは全部で3種類



07 「お腹いっぱい 幸せいっぱい」を叶えるうどん屋さん

藤やんうどん

ライター
気ままなママチャリライター
高橋香歩

9月12日、佐賀駅そばにオープン。佐賀城口（南口）を出てガード沿いの道を長崎方面へまっすぐ歩くと、フルーツ飴専門店の隣に「うどん」「そば」のぼりが見えてきます。カラオケスナック跡をすっきりと改装した和の雰囲気の店内です。カウンター5席と、小上がりに座卓が2卓用意されています。

メニューは基本のかけうどんが290円、かけそばが340円。ネギも希望を聞いた後に入ってくれます（揚げ玉はセルフ）。具材はメニューの「トッピング」から選んで注文。例えば100円で「山かけ」「わかめ」「キッズ」や「卵（生 or ゆで）」など。150円で「まる天」など。200円で「肉」「かしわ」「かき揚げ天（ごぼう or 野菜）」。ざるうどんやざるそば、おにぎりなども提供されています。（金額は全て税込）

店主の藤田さんはまったく異業種からの脱サラで、心機一転、飲食業に挑戦。メニューは自ら考案しながら、毎日奮闘している様子です。その中でもお店の味と言えるのは、さりげなく口あたりのよいスープ。サバやウルメイワシを中心にだしをとっていて、やさしい塩加減です。また、「最初は唐揚げ店を出そうと思っていた」というくらい、実は唐揚げもご主人自慢のメニュー。脂身や筋を落として丁寧に下処理をし、「塩こうじ」「にんにく醤油」「油淋鶏」の3種類の味付を日替わりで提供しています。缶ピール片手に、おつまみの一品としてもおすすめです！

学生さんがよく利用する市営の駅西駐輪場から近く、通学・通勤途中の朝食にも気軽に寄ってほしい、との思いから平日限定で「朝うどん」を開始。寒くなるこれから季節は要チェックです！週末は夜も長めに営業。「お客様においしいと言ってもらえた嬉しい」という藤田さん。



かけうどん+肉+わかめ（税込590円）。※かけうどん単品は税込290円



3種の味が日替わりで楽しめる唐揚げ（写真は塩麹味）税込各200円



お店外観。電車の音が時々聞こえるほかはわり静かな通り沿い

08 この一杯を丁寧に、気持ちを込めて

らーめん げんこつ

ライター
街なか楽しみ見つけ隊
谷口幸恵

佐賀市役所近く、青地に白の文字で「げんこつ」と書かれた暖簾が目印のラーメン店。お店時は外に人が並ぶ、カウンター8席のみの人気店です。店主の古賀昌子さんにお話を伺いました。

このお店は愛敬町の老舗ラーメン店「いちばん星」で修行した古賀さんが、昨年2月にオープンした佐賀ラーメンのお店です。店内は青い壁が印象的で清潔感があり、女性一人でもふらりと立ち寄りやすいお店だなと思いました。ラーメンは「いちばん星」の味を踏襲。佐賀ラーメンの特徴であるコシがある柔らかめの麺に丁寧に豚骨で出汁をとった臭みのないあっさりしたスープが絡み、手仕込みのチャーシューと海苔、ネギがのっています。私は生玉子の黄身を入れた「玉子ラーメン」（税込700円）をいただきました。佐賀ラーメンならではの円やかで優しい味のラーメンは、とても美味しいかったです。お客様の中には、ラーメンはもちろんですが、ランチセット（+250円で小ぶりの餃子3個、ご飯がつく）やラーメンと「クズクズチャーシューごはん」を一緒に注文する方も多いそうです。

店内はカウンター席なので客席から気軽に話しかけられる場面もあり、テキパキとお一人で作業しながらにこやかにお話しする古賀さんは楽しそうでした。仕込みから接客まで全一人で切り盛りされているので、「休みの日はどう過ごしていますか？」の質問に「1日中寝ています！」と即答されたのも納得！「とにかく毎日必死です！」と力を込めて言られたのがとても印象的でした。「仕事中いちばん楽しい時間は？」という質問には「やっぱりお店でお客様と接する時間です」とお話ししてくださいました。

「げんこつ」という店名はご両親が以前営んでいた生簾料理店から譲り受けたもの。初めは



これぞ、ザ・佐賀ラーメン！ 玉子ラーメン 税込700円



Today is Noodle Day!



04 海鮮居酒屋がつくる 「海鮮トマトちゃんぽん」をお昼に！

活魚と主菜の居酒屋 千々

ライター
かわらばん編集長
庄野雄輔

愛敬の通りにはためく「ちゃんぽん」の幟（のぼり）。仕事で前を通るときに、実は気になっていました。お店の名前は「千々」。読み方は「ささ」。この場所では開店10周年となる海鮮メインの居酒屋です。店内に一步入ると、まず生簾が目にあります。ご主人の本村さんは長崎県内の漁師家庭に生まれ、20歳頃まで漁師、仲卸で7年、鮮魚店で25年、その後飲食店という経歴の、いわば魚のプロ。元々飲食店を始めたきっかけも、鮮魚店時代のお客さんから熱々の調理した魚も食べたという声が多数挙がったからだそうです。長年培った目利きを活かして新鮮な魚を仕入れ、夜は海鮮居酒屋として、お昼は海鮮ちゃんぽん等を提供するお店として、愛敬町で営業されています。

種のメニューとしては、ちゃんぽんや皿うどんがありますが、今回は主に「ちゃんぽん」を紹介します（麺は夜営業時も食べられます）。ここで提供されるのは、ご主人が長崎県出身ということもあって、野菜もりもりの佐賀ちゃんぽんではなく、本場の長崎ちゃんぽん。中でも人気なのは「海鮮ちゃんぽん」（昼は税込850円）や「海鮮トマトちゃんぽん」（昼は税込900円）だそうです。海鮮ちゃんぽんの具材はいか、えび、あさり、キャベツ、もやし、玉ねぎなど季節の野菜、豚肉やきくらげ、かまぼこなど。スープは豚骨スープがベースで、そこに海鮮の出汁が加わり旨味に深みが増していきます。また、トマトちゃんぽんは海鮮ちゃんぽんをベースにトマトペーストを加えたもので、一口食べるとトマトの香りが口いっぱいに広がり、そこに海鮮や豚骨のコク、野菜の甘味がうまく絡みます。トマトちゃんぽんは、濃厚だけどあっさりしているので女性ファンも多いそうですが、ご主人のおすすめの食べ方は、最初はそのまま食べ進め、途中でトマトペーストにチーズを加えて味変すること。個人的には、さらにご飯を加えてリゾット風にするのもありかも？と思いました。そして、それ以外のメニューでは、「海鮮皿うどん」（昼は税込900円）。一度試してみてください。

は税込930円）や新メニューの「みそバターちゃんぽん」（昼は税込870円）などもご主人のおすすめのようです。



海鮮トマトちゃんぽん（昼は税込900円）。一度試してみてください



カウンター席と小上がりがあります



「ちゃんぽん」と書かれた幟が目印です。愛敬のセブンイレブンから南に100mほど

無骨なイメージの店名と古賀さんとのギャップが面白いなと思いましたが、お話を伺った後は、掌に大事なものをしっかりと握りしめてお店を切り盛りされている印象が、この店の名前にぴったりで相応しい、と感じるようになりました。

定休日となっている日曜日にも開店していることがあるそうなので、ぜひInstagramをチェックしてお出かけください。

[INFORMATION]
らーめん げんこつ ☎0952-38-6090 ● 佐賀市愛敬町13-5 ● 営業時間 / 11:00~17:00 (OS16:45) ● 定休日 / 日曜、不定 (インスタグラムで確認) ● 駐車場 / なし ● インスタグラム @genkotoku



市役所南のドラモリのそばです